


# みんなの火消し屋



かけがえのない人の命と貴重な財産を奪う恐ろしい火災。これから寒くなり空気が乾燥するにつれて火災が発生しやすくなります。

もしも近くで火災が起こったら…。サイレンが鳴るや否や、一刻も早く現場に駆けつけ、消防署員とともに消火活動を行っているのが消防団です。

今回の特集では、火災から地域を守ってくれる消防団を紹介します。

## 明治時代から活躍

富士市の消防団の前身は、明治時代、各村で消防組が組織されたことにさかのぼります。その後、昭和十四年、警防団令の制定により、消防組は警防団に改編。消防団令、次いで消防組織法の制定により、昭和二十三年に旧吉原市・旧富士町（旧富士市の前身）・旧鷹岡町それぞれに消防団が組織されました。

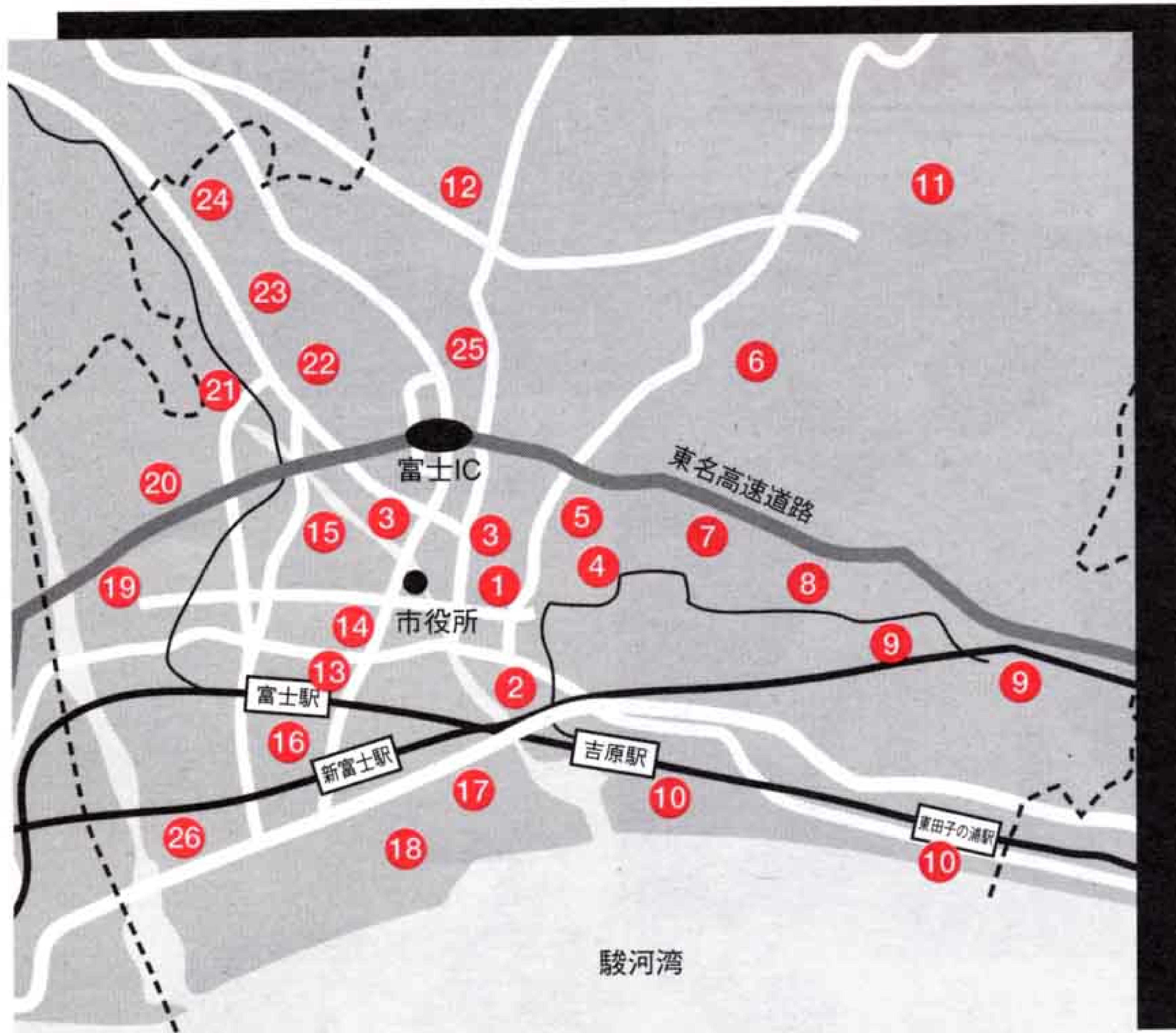
## 富士市の消防団

### 六方面隊、二十六個分団で編成

昭和四十一年、二市一町の合併とともに、消防団を統合。二十四個分団、団員約千人で組織が編成されました。その後、指揮命令系統の明確化を図るため、近隣の数分団で構成される方面隊制度を採用。また、広見地区に第二十五分団、富士南地区に第二十六分団が新設され、現在、富士市消防団は、六方面隊二十六個分団で編成されています。

各分団の詰所には、消防ポンプ車、可搬式小型動力ポンプなどが備えられており、万が一、火災が起こった場合に、いつでも出動できる準備を整えています。

## ○消防団分団の配置図



※各分団の詰所の位置を示しています（数字は分団名）。

## 消防団一口メモ

## ○消防団はなぜ「出場」？

火災の広報で流れる「消防団第〇分団出場一」。消防署員はいつ発生するかわからない災害などに備え常時出動体制をとっているため、「出動」という言葉を使います。しかし、消防団員は自分の職業を持っていて、災害を知ると同時にその場から団の詰所や現場に駆けつけて活動を行いますので、「出場」という言葉を使います。



## ○消防団の第1出場と第2出場とあるけどその違いは？

比較的小規模な火災の場合、出火場所の担当区域の消防団に「第1出場」をかけ、出火場所を担当する分団が出場します。しかし、住宅や倉庫などの大きな火災では、市内全域に放送を流し、「第2出場」をかけ、近隣の5~6個分団に協力を要請します。



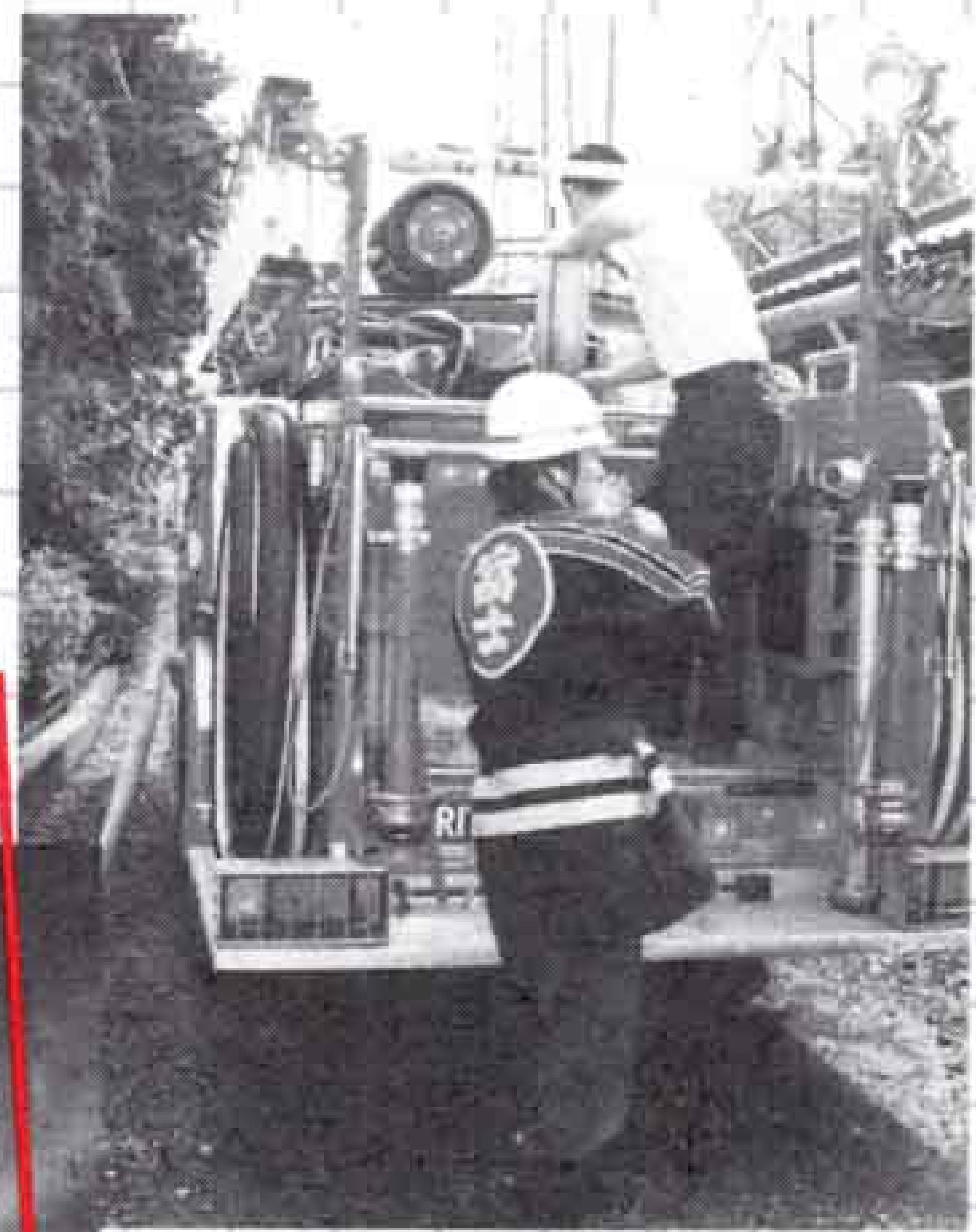
**現在、七百九十八人の団員で活動**

消防本部が常備消防機関であるのに對し、消防団は非常備の消防機関。消防団を構成する消防団員は平成十二年十月一日時点で、七百九十八人（定数九百人）。それぞれの団員は、職業につきながら、必要なときに召集され、消防活動に従事しています。団員は非常勤の特別地方公務員の身分ですが、報酬・手当はごくわずかな額。活動はボランティア的要素が強いものになっています。

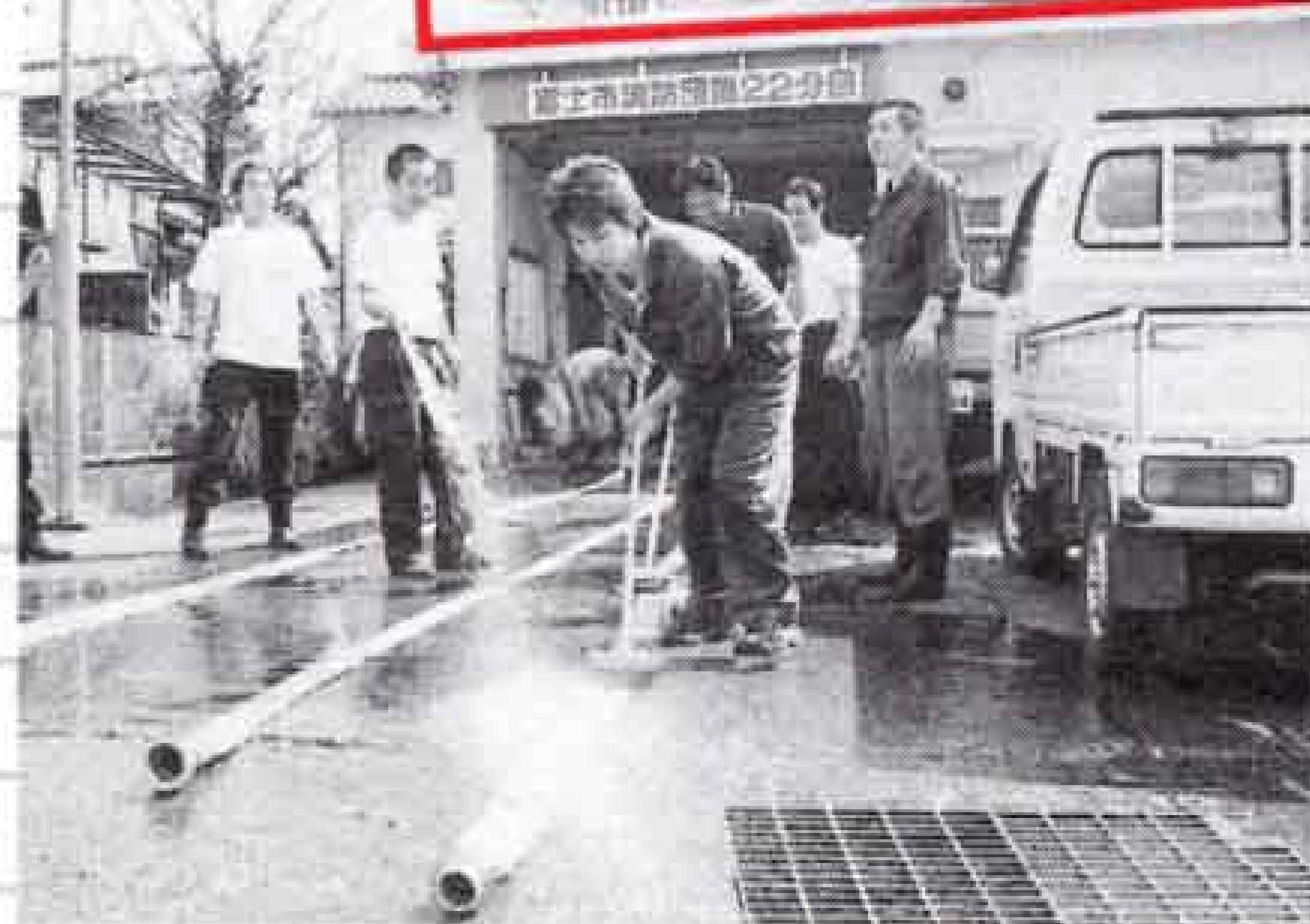
# ます。消防団

の消火活動  
が一の出場  
点検、地域  
な活動を行

## 火災現場



▲火災現場に到着すると  
迅速な消火準備



▲消火活動終了後は詰所に戻って  
ホースなどをきちんと清掃



▲現場近くの交通整理も消防団員の役割

## 消防団活動に携わって…



第1分団 分団長  
渡辺 俊一さん  
(活動歴35年・吉原2)

私たちの活動で  
**被害を最小限にしたい**

分団に出場要請があつたときは、  
迅速に現場に向かえるよう心がけて  
います。詰所にすぐに入られない団  
員には直接現場へ行くよう指示して  
います。

現場では、延焼などの被  
害を最小限にとどめるため、  
本部の指示を受けながら消  
火活動を支援する活動が中  
心となります。現場では危  
険が伴います。団員にけが  
があったら大変ですから、  
分団長として団員の安全確  
保には十分気を配らなければいけ  
いと思っています。

冬の現場では、寒くて手がかじか  
んで感覚がなくなることもあるほど  
です。消火活動が長くなりホースが  
凍つてしまつたこともありますよ。  
現場での活動は大変な仕事ですが、  
被害を最小限に食いとめられてよか  
つたと言われたときなどはほっとし  
ますね。

## 消防団活動は生活の一 部

近所の分団長に誘われ入団しまし  
たが、最初は務まるか心配でした。  
活動になれば始めたのは二年目くらい  
から。小型ポンプ操作の一員として



▲全団員が一堂に会する消防出初式

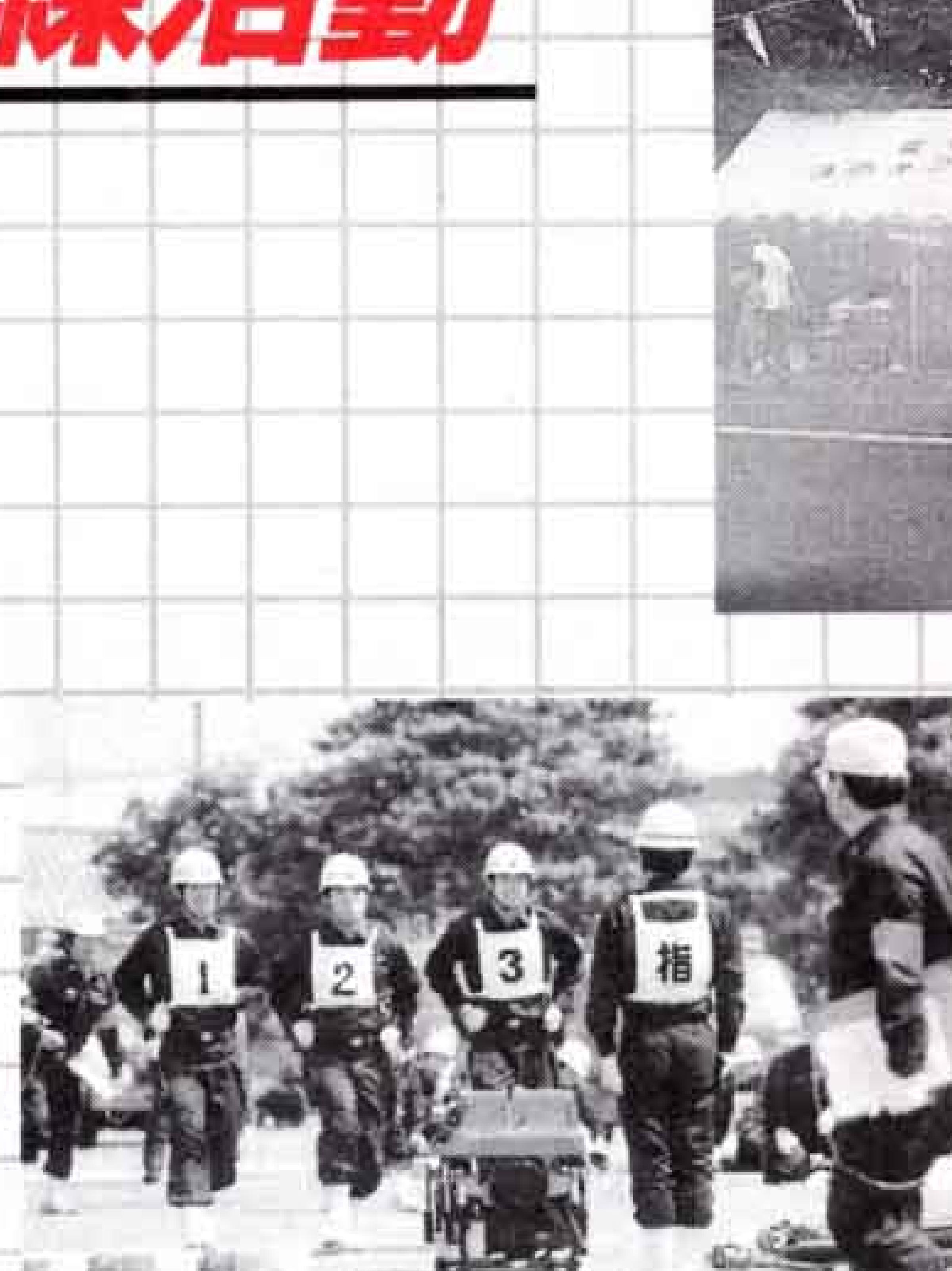
# 活躍して

消防団の活動は火災現場でだけにとどまりません。万に備え、たゆみない訓練や行事への協力などさまざまっています。

## 地域・訓練活動



▲各分団、毎日を決めて行っている訓練や器材の点検、打ち合わせ



▲訓練大会で日ごろの訓練の成果を発揮



▲地区の運動会にも散水で参加

第8分団 団員  
**小松崎 修さん**  
(活動歴半年・富士岡)



### 活動を通じ地域の役に立ちたい

地域の方に誘われて、こ  
としの四月に消防団に入団  
しました。年代の違う皆さん  
と接することができ、よ  
い人生の勉強になっています。  
まだ実際に火災現場での  
経験はありませんが、入団  
して、火災発生のサイレンには敏感  
に反応するようになりました。訓練  
では思った以上に体力を使うのでき  
ついのですが、自己管理にも気をつ  
かうきっかけにもなりましたね。  
自分の住む地域が大好きです。入  
団した以上これからも団活動に積極  
的に携わって少しでも地域の役に立  
てればと思っています。

第14分団 部長  
**稲葉 朗宏さん**  
(活動歴16年・蓼原)



声をかけていただき、そ  
れからのめり込みました。  
数年前、市の訓練大会の小  
型ポンプ操作の部で優勝し  
たときの感激は今でも忘れ  
られません。こうした訓練  
は実際に現場で役に立っています。  
活動で家をあけることも多く、深  
夜の火災でも、すぐ出場できるよう  
準備をしています。こうして活動を  
続けていられるのも、家族の協力の  
おかげですね。私にとって消防団の  
活動は生活の一部になってしまって  
いるようです。

## 家族にとって消防団はなくてはならない存在



▲将棋で遊ぶ団員の裕則さんと宏樹くん

第23分団団員家族

長谷川 松江さん  
(久沢)



分団の出場を知らせるサイレンが鳴り、パツと目を覚まし出かけていく夫を見ると、火事がたいしたことなればと思いながら見送ります。帰ってくるまで無事であるか心配になりますね。

夏祭りや安全大会、防災訓練などの地区的行事や訓練・点検といった消防団活動に夜出かけることもあります。子どもが小さいころは、夫が活動に出かけてしまうと大変でしたね。でも今では、仕事から早く帰ってきたときなどは「きょうは消防団かな」というのが家族での合い言葉になっていますよ。

仕事で忙しくても活動に参加しているのは、気心の知れた仲間たちの存在が大きいようです。分団の結束もかたく、家族ぐるみの交流も楽しみの一つになっています。消防団は、私たち家族にとってなくてはならない存在になります。

家庭

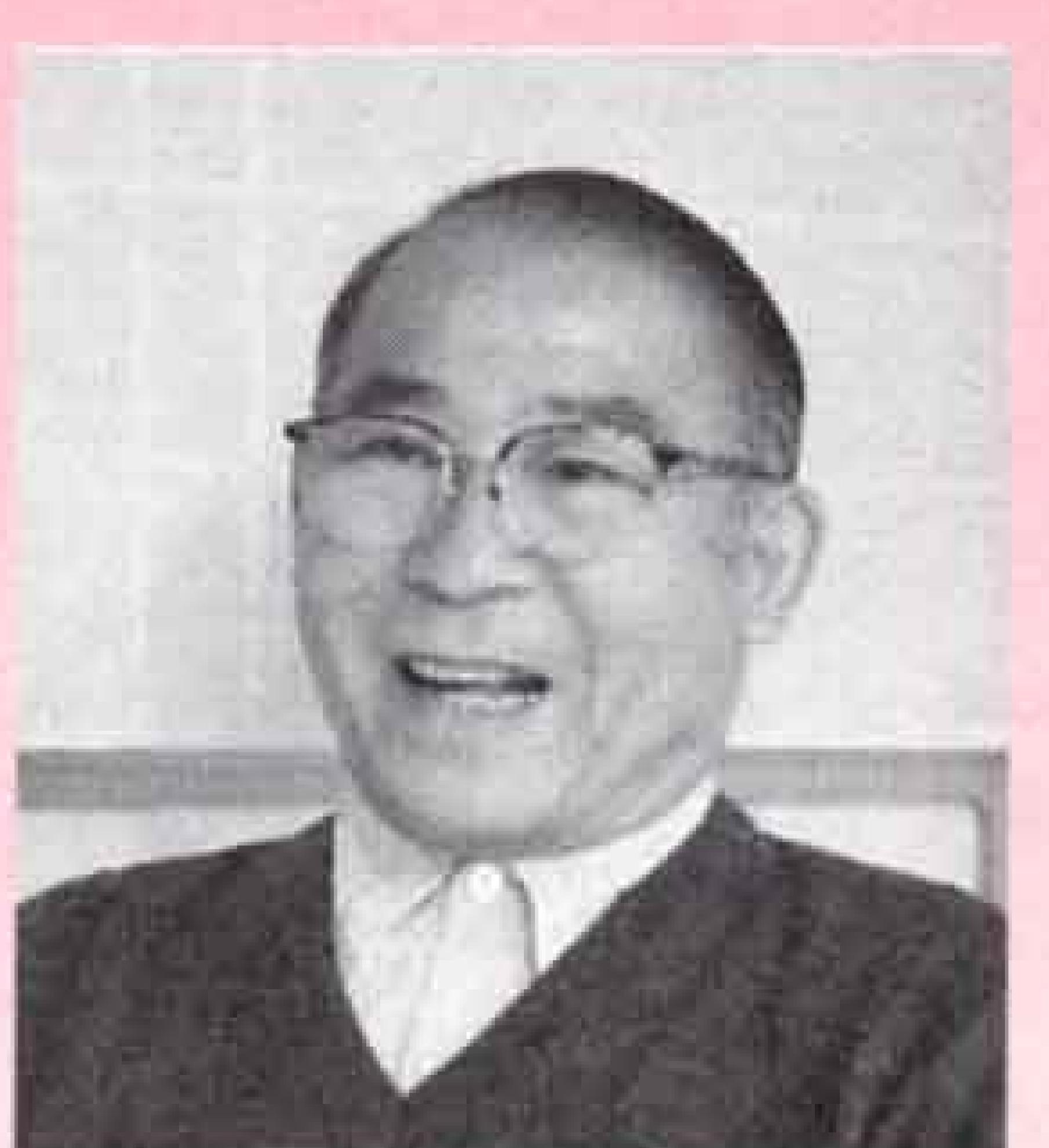


地域

## 消防団活動を支えて

### 消防団は地区の守護神のような存在

原田地区  
生涯学習推進会会長  
小川 喜一さん (原田)



原田地区には第七分団があり、地区のまちづくり総合パレード、鎧ヶ淵親水公園まつり、体育祭、文化祭といった地区的行事に年間を通して積極的に参加してくれています。また、たくさんの中の役員など地域のリーダーとして活躍しているので、地区とのつながりも密着していますね。

地区の中心に詰所があるので、いざというときに消防団の存在は心強く、実際に地区に火事があったときには「消防団が近くにいてくれて助かった」といった声も聞かれましたね。また、冬の夜警の音を聞くと消防団が守ってくれていると実感します。災害から地区を守る守護神のような存在ですね。ただし、頼りすぎて、みずから防災意識が薄れてもいけませんが：（笑）。

東海地震など災害があつたときのために、地域の自主防災が大切になります。消防団の皆さんの経験や知識を自主防災活動にさらに生かしていただけるようこれからも期待しています。

## 地域のための重要な活動を応援



南自動車工業(株)

工場長

**鈴木 博さん**

第十分団の団員が工場で働いていますが、サイレンで出場の放送があると、送り出しています。昼間の火事で現場へ行ける団員は限られています。負担かかる活動ですが、地域のためによく頑張ってくれていると思います。仕事は翌日にカバーしてくれています。

工場では塗装など火気に注意しなければならない作業も多くあります。消防団活動で得た経験をもとに、防火・防災面で周りにいろいろ声かけやアドバイスをしてくれるので、とても助かりますね。

ジャトコ・トランステクノロジー(株)

試作部試作課長

**野中 高則さん**

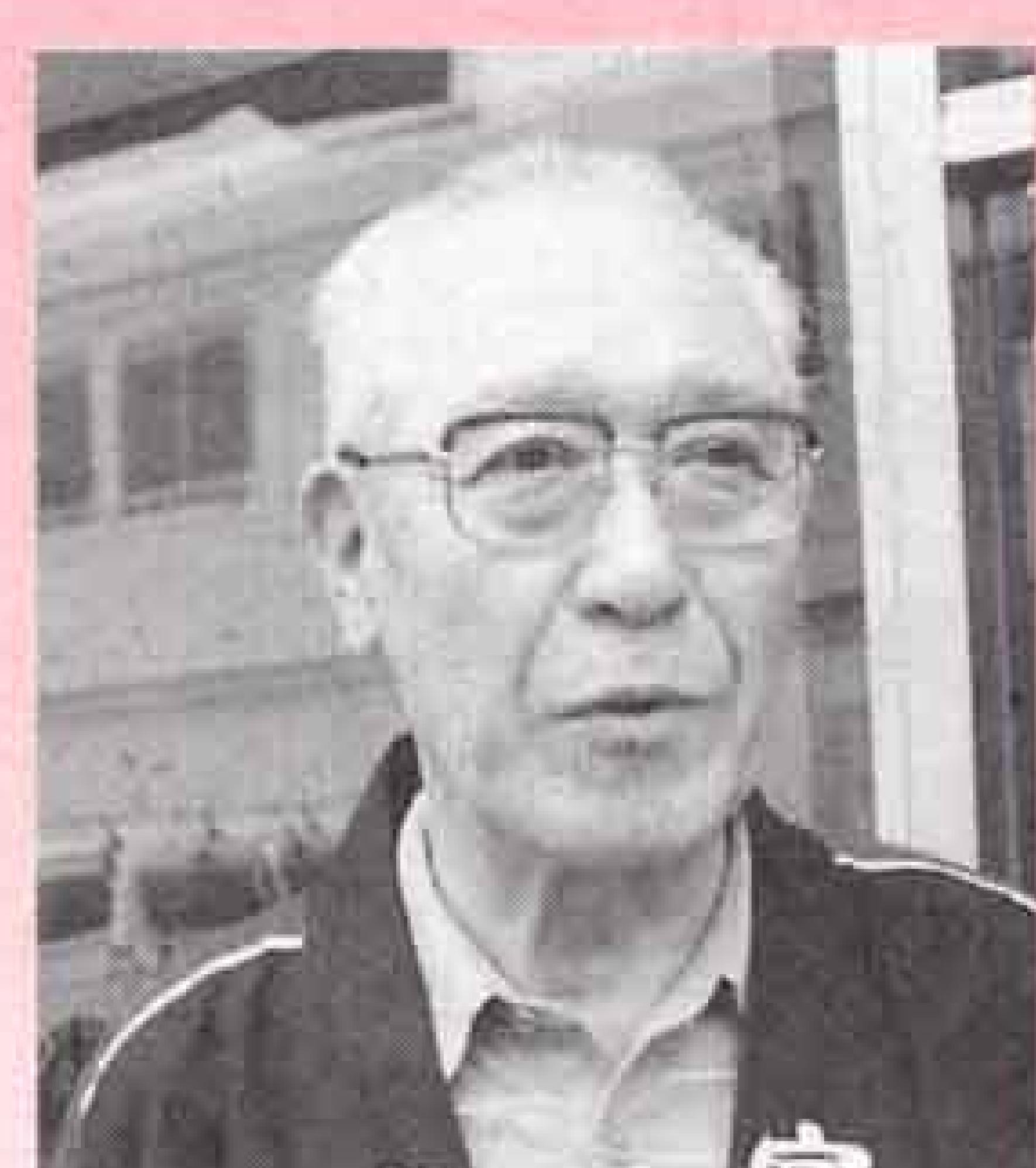
会社に自衛消防隊があり、会社の消防団活動への理解も高いと思います。私の所属部署には分団員が一人います。時には明け方の出場で出勤がおくれてしまつことがあつたり、訓練などで残業できずに早く帰らなければならなかつたりすることもありますが、地域のための活動ということで職場では理解しています。一人が団で培つたチームプレーの精神は、実際の仕事でも生きています。これからも応援していきたいですね。



**職場**



## 消防団の活躍にこれからも期待



富士市まとい会

**小長井 茂さん**

(平垣本町)

昔と今を比べても訓練内容に多少の変化こそあれ、地域を守る消防団の使命は変わりません。

地域を守る消防団の使命は変わりません。市民の安全を第一に、いち早く消火できる消防団としてこれからも活躍してほしいと思います。

富士市まとい会は、分団長以上を経験した消防団員OBなどから成っている会です。新入団員の勧誘をしたり、出初式や訓練大会に応援に行つたりするなど団の活動を支援しています。

私が消防団に入ったのは昭和二十七年。当時の富士町には、本部と私が所属した分団しかポンプ車がなく、離れたところの火災にも出場していました。狩野川台風の災害救援活動は強く印象に残っていますね。

**O B**

課題に取り組み、消防団の活性化を

「消防団の訓練など大変では」という声を耳にすることもあります。いろいろな皆さんとの交流など、活動によって得られる多くの経験は、有形無形の大きな財産となります。

消防団活動は、市民の生命や財産を守る大切な任務。これからも地域と一緒に活動を続けていきたいですね。

活動によって得られる経験が財産に

特に火災が多くなるからは、地域の夜警など防火啓発活動を行ったり、現場での活動が多くなったりする時期です。現場で効果的な活動をするために、各分団では日ごろからの訓練を重ねています。

現在、定員に対し百人以上の団員不足が生じているなど、消防団が直面する大きな課題は人員の確保です。また、団員の平均年齢が高くなっています。さらに、会社勤務の団員の比率も高まり、昼間の火災出場に影響が出てくる不安もあります。今後は機動力と迅速な対応が可能な団員確保の強化にも力を入れなければならぬと感じています。そのためには、消防団活動の重要性を皆さんに知つていただくようPRしていくたいと思っています。

## 「団員確保」が大きな課題



富士市消防団長  
羽切 透さん  
(水戸島)

特に火災が多くなるからは、地域の夜警など防火啓発活動を行ったり、現場での活動が多くなったりする時期です。現場で効果的な活動をするために、各分団では日ごろからの訓練を重ねています。

消防本部では毎年春と秋の二回、火災予防運動を通して市民の皆さんに、みんなの力で火災のない安全な街をつくるよう呼びかけています。消防職員によるひとり暮らしの高齢者家庭の防火診断などを行うほか、消防団員の皆さんも協力していただき、周辺地区の住宅防火指導などを実施しています。火災がふえる時期を迎えるに当たり、家庭や職場などでまず火を出さない心がけをしていただきたいと思います。

## 大きな消防団の力

火災などの災害現場にあって、地域について詳しく、消防知識や技術を身につけた消防団の力は、延焼の防御、負傷者の救出などに欠かすことのできないものです。

さらに、長時間かつ広範囲な災害となる地震や風水害などが起こったとき、本部だけで対応することは不可能です。市内全域を八百人の団員でカバーする消防団はとても心強い存在です。職業につきながらも、さまざまな活動に活躍してくれてありがとうございます。これからも消防本部と消防団の連携を密にして、非常時への備えを十分にしていきたいと思います。

## 日々からの防火意識を



富士市消防本部  
勝又 利行 消防長



## 消防団員募集

富士市消防団では、消防団員を随時募集しています。市内在住の18歳以上で、熱意のある健康な人なら入団できます。消防団に入団するには、地域の消防団員または地域の町内会（区）長へお申し出ください。